



永年の功績をたたえて

▶ 11月5日、鞍手町表彰式



町の自治振興のため、町民の模範となるような善行があった人や永年にわたって町政の振興に寄与した人を表彰する鞍手町表彰式。今年は11月5日に役場で表彰式が行われ、弥生老人会「若生会」に善行表彰が贈られました。若生会は、「鞍手一元気な老人が住む町づくり」をテーマに、社会奉仕活動（高齢者見守り活動、介護施設慰問等）、教養の向上（認知症サポーター養成講座、人権学習等）、健康増進（ラジオ体操やグラウンドゴルフ等）、老人会サロン（脳トレや歌等）、広報紙の発行などのさまざまな活動をしていることが評価され、今回の表彰となりました。

郵便ポストを情報発信拠点に

▶ 地域情報サービス QR コード付ステッカー貼付式

10月30日、役場で地域情報サービス QR コード付ステッカー貼付式が行われました。これは、郵便ポストを情報発信拠点として活用し、まちの防災情報や生活情報を提供することで、鞍手町のまちづくり・安心安全な暮らしの支援をしようと郵便局が行ったものです。この日、役場前の郵便ポストに町長がステッカーを貼付し、その後、八幡南郵便局の配達社員のみなさんが町内全34か所の郵便ポストにステッカーを貼付しました。



くらての元気が大集合 !!

▶ 2019 くらて元気まつり



10月27日、2019 くらて元気まつりが行われました。会場となった文化体育総合施設内では、焼きそば、唐揚げなどの飲食物や町内でとれた農産物の販売、消防はしご車の試乗体験、バザーなど今年も多種多様な出店が見られました。また、福岡よしもとのエッグボール、ショウキンが総合司会を務めたイベントステージには、剣第一保育所の子どもたち、風船芸人の松下笑一さん、GA キッズヴォーカルダンス、アイドルグループの #maidys、KENZO & モンゴル Dance Academy、がむしゃらプロレスが登場し、歌やダンス、プロレスなどで会場を大いににぎわせていました。

警鐘、町に鳴り響く

▶ 秋季火災予防啓発パレード

11月9日からの全国火災予防週間に合わせ、10日、宮若市・小竹町・鞍手町の消防団と消防本部が合同で防火パレードを行いました。今年は、宮若市で出発式を行った後、消防車両8台が3市町を「カンカン、カンカン」と警鐘を鳴らしながら駆け抜け、火の用心を呼びかけました。空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。就寝前や出かける前にはしっかりと火の元を確認するなど火の取り扱いには十分に注意しましょう。



すくすく日記



広報「すくすく日記」のコーナーでは、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。1月生まれば、12月10日（火）までに役場政策推進課政策係窓口または下記の方法で申し込んでください。

インターネット申込ができるようになりました !!

「鞍手 すくすく日記 申請」のキーワードで Web 検索すると見つかる『ふくおか電子申請サービス』のページで入力フォームに従って必要事項を入力し、申込を完了してください。申込完了後、入力したメールアドレスに到達通知メールが届きます。申込から30分以上経過しても到達通知メールが届かない場合はお問い合わせください。

- 申込ページ <https://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/uketsuke/dform.do?acs=sukusukunikki>
- 申込・問い合わせ 役場政策推進課政策係 ☎ 42-2111（内線384）まで



ボクがレシピを考えました

▶中学生が考えたレシピが学校給食になりました

鞍手中学校の2年生全員が夏休みに「鞍手町らしさを表現した給食」のレシピを考え、その中から栄養教諭や調理員のみなさんが選んだ10のレシピが実際に学校給食として登場することになりました。

10月24日の学校給食のレシピを考えたのは、金田侑也さん。メインの「きらく焼き」は、キャベツやパプリカなどの野菜と豚肉をきらくソースで炒めたもので、デザートには町の特産品「巨峰」（給食では季節の都合でみかん）を選択。また、栄養バランスのとれた食事にするため、「6つの基礎食品群」の中で、きらく焼きとデザートでは不足している「3群」を補うため、みそ汁に小松菜やにんじんなどの緑黄色野菜を入れるようにしました。

金田さんは「給食のメニュー表に自分の名前が書いてあり、友だちや先生に気がついてもらえて嬉しかった。実際に食べてみてとてもおいしかった」と話してくれました。



設立50周年の記念に

▶鞍手町工業団地共同組合が町に50万円を寄附

11月18日、鞍手工業団地協同組合が組合設立50周年を記念して町に50万円を寄附しました。鞍手工業団地協同組合は、1969年12月に本月で操業を開始し、現在は組合員数10社、従業員数1,004人となっています。寄附のため町長を訪問した岡村安高理事長は、「ささやかではありますが、町のこれからのために役立ててください」と話し、町長は寄附への感謝とあわせて、「50年もの間操業され、雇用の確保にも貢献していただき感謝しています」と話しました。



地域の安全は地域で守る

▶松尾芳則さん、剣北小学校区育成部会に表彰状

10月5日、福岡市で子どもの見守り活動など地域の安全・安心を考えるイベント「令和元年度安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」が行われました。このイベントの中で、地域の防犯活動等に貢献した人に対する表彰が行われ、松尾芳則さん（永谷）が防犯功労者銅章を受章しました。また、剣北小学校区育成部会も防犯功労団体として表彰されました。いずれの表彰も、青色防犯パトロール隊での子どもの見守り活動や声かけなど町の安全・安心、防犯意識の高揚に大きく貢献した功績が評価されたものです。

新聞作成コンクールで最優秀賞

▶11月3日、北九州パレスで表彰式

北福岡日会（朝日新聞社）が主催し、北九州、京築、筑豊地区などの小学5・6年生から711点の応募があった新聞作成コンクールで、濱本沙良さん（古月小6年）の作品が最優秀賞に選ばれました。濱本さんが作成したのは、「オリンピック・パラリンピック新聞」。体操を習っていてオリンピックに興味があったことからこのテーマを選び、競技種目や参加国、マスコットキャラクターなどについて調べたことを一枚の新聞にまとめました。学校の取組で普段から新聞づくりに馴染みがあった濱本さんは、「新聞づくりが好きなので最優秀賞に選ばれて嬉しい」と話してくれました。



宝くじでまちを元気に

▶大池区が宝くじの助成金で備品・設備を整備しました

今年度、大池区ではテレビやプロジェクター等の視聴覚用備品やテント、草刈機、盆踊りで使う照明用の架台、グラウンドゴルフ用クラブ等を整備しました。これは、地域コミュニティの活性化を目的として区の活動を充実させるために整備したものです。整備費用は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」を活用しました。宝くじの収益金は、身近なところでまちづくりに役立てられています。



災害に備える

▶新中山区防災訓練

10月20日、新中山区で毎年恒例となっている防災訓練が行われました。橋本区長指揮の下、自治会役員のみなさんが情報班、活動班、民生班、看護班に分かれて災害発生時に避難行動の確認。また、消防鞍手出張所の職員も防災訓練に参加し、訓練の最後には消火訓練も行われました。

